

諸統計より

人口統計	対前年比
昭和39年12月1日現在	20人減
総人口	11,709人
男	19人
女	2世帯減
世帯数	4,648世帯

壬生町政だより

39年12月号

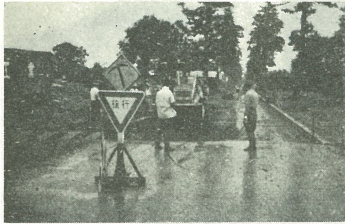
No. 72
発行所 毎月1日発行
印刷所 株式会社 行町生役場

三十九年もあとわずかいろいろな話題の多かった年は過ぎさうとうとしております。

人口二万四千の本町の一九九の歩みをここにふりかえってみるのも無駄なことではありません。又くる年への願いと計画を町民みなさんと温め合う意味においても必要なことでしょう。

一つの例として、上稲葉にできた母子健康センターは、押す押すの盛況です。若いママさんたちに町の施設を有効に利用していただいています。清潔な施設、安心して赤ちゃんが生まれると役場に農家の若いママさんがお礼に見えました。町民のみなさんと結びあう行政を心がけて三十九年に別れをつけましょう。

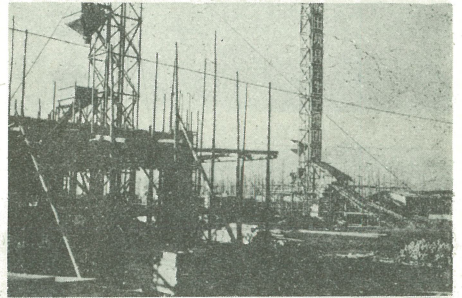
39年をかえりみて



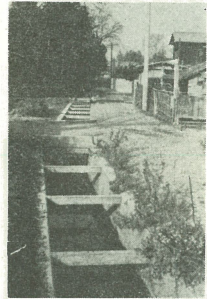
県道小山今市線の舗装工事 (下表町)



7月に発足した第二保育所 (安塚)



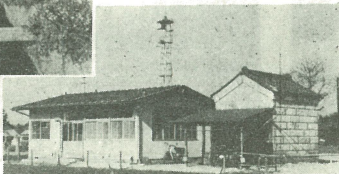
建設すむ玩具団地 (12月撮影)



上=立派にできあがった下水道 (3月末、栄町)



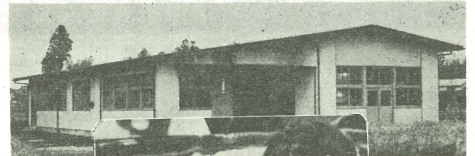
1964年よ
さようなら



10月に移転した南犬飼支所 (安塚)

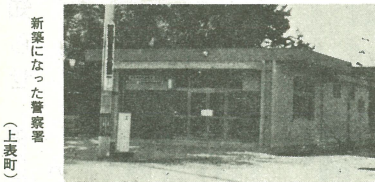


上酒町にとりつけられた交通信号機 (七月六日)

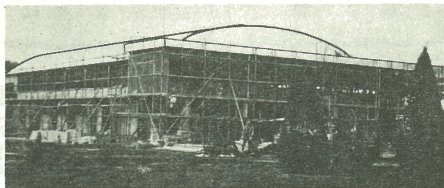


上=7月1日に開所した母子健康センター (上稲葉)

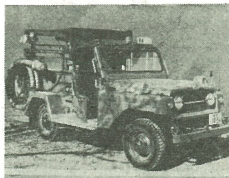
左=開所第一番目の赤ちゃん運山麻子ちゃんとお母さん



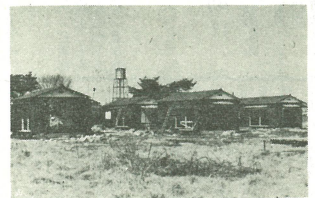
新築になった警察署 (上表町)



下=落成近い壬生高校体育館



至宝町に配属された自動車ポンプ



20戸の完成をみた町営住宅 (3月、ひばりヶ丘)

それでは町の三十九年の足あとを尋ねて追ってみたい。

△…みなさんの身近かな問題として「カとハエの駆除」が全町あげて行われ、心配ごと相談所も毎月開かれた。

母子健康センターが上稲葉に七月二日に開所、建坪二四四平方メートルの近代的な施設で工事費四百四十万円をかけた。

第二保育所が安塚に七月十五日から開所され、定員六十名で建坪二七八平方メートル、工事費三七〇万円です。

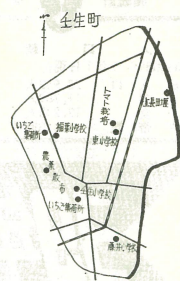
元気な園児がとびはね六月には町営住宅二十戸に入居した。また清防自動車ポンプが羽生田と至宝町に配属された。七台の新鋭車をそろえて、みなさんの生命財産の保全に当ります。

また交通戦争に交なえた上通町に交通信号機を七月六日に点灯。その他国民健康保険事業、国民年金事業も順調に推移しました。

△…次に関心の持たれている輸出玩具団地の建設状況は、二月から十二月まで七億七千万円で①十一工場の建設の事務所、共同倉庫、二百名収容の住宅施設②団地内四キロメートルのアスファルト舗装、汚水処理施設の建設などが写真に見られるとおりです。

また管内を結ぶ県道舗装工事も一六二〇万円をかけて小山今市線、壬生真岡線、壬生征原線を実施。都市計画街路として国谷石橋線は用地の交渉中です。

中央下水道(栄町)は工事費三百万円で三月に完成、延長二六〇メートル、排水施設の近代化への一布石をしました。



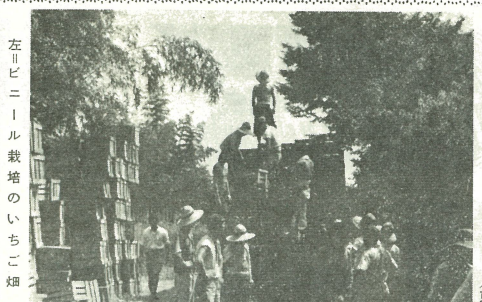
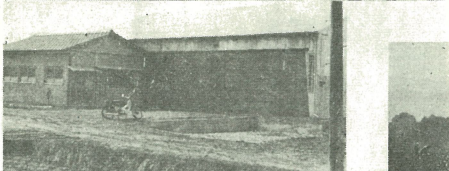
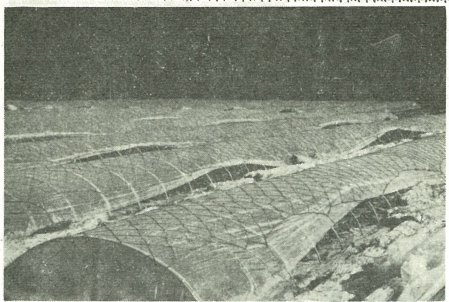
▽：壬生町の農業は、より市場と直結する傾向の栽培が増えつつあります。ビール麦出荷、加工用トマト、いちご栽培、野菜、果樹、ブドウ、畜産生産加工など約二割にのぼる出荷組合が活々している。

また五農協の合併問題が四十年来には合併補助がうちぎらされ、その後栽培省として、その大型集約育成方針が打ち出されている。米づくりではヘリコプターによる農薬散布が実施されて効果をあげています。上長田圃は工事費七三二万円、受益面積は三二・五ヘクタールの田をうらわします。

▽：教育環境の整備では壬生小学校々舎増築工費九六〇万円、プールも同校九十周年記念事業として三七〇万円で敷設した。また給食室の整備では工費一三二万円をかけて藤井小学校、東小学校の増築改築を、東小学校の小学校とあわせて完全給食とさせた。

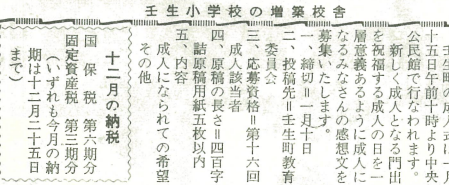
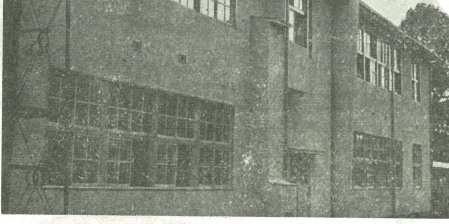
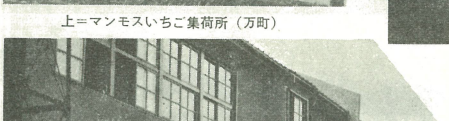
壬生高校の体育館も十二月末の完成を目ざして、建坪一五八七平方メートル、工事費七四四〇万円、建設中であります。その他に南大綱支所建設、商工会の掲燈に三〇四灯の街路燈、警察派出所の新築など、町民のみならず手

を結ぶ町政のために今年一年の「町政だより」はお役に立つて下さい。では良い年をう。



上=加工用トマの出荷(岡谷にて)

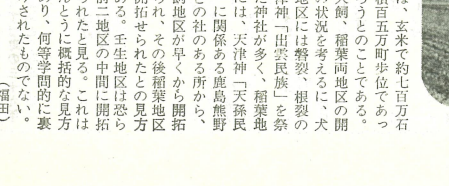
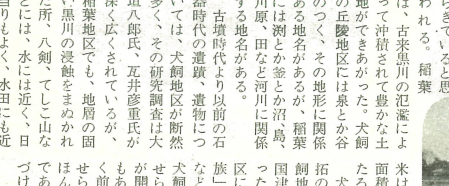
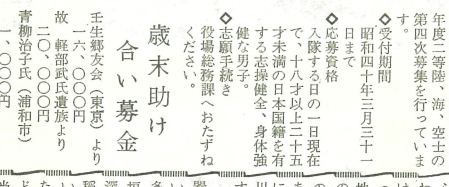
右=清潔な給食室(東小)



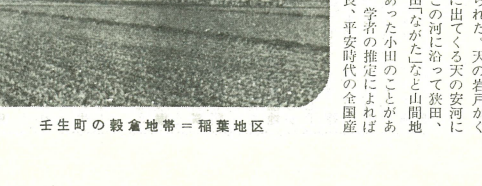
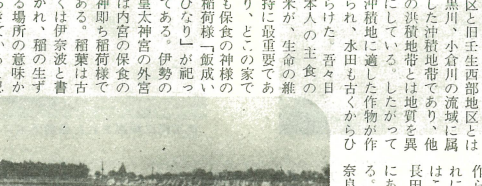
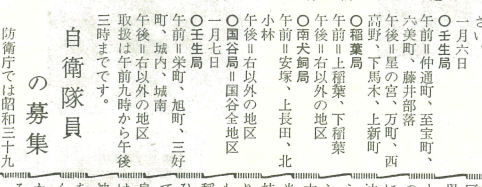
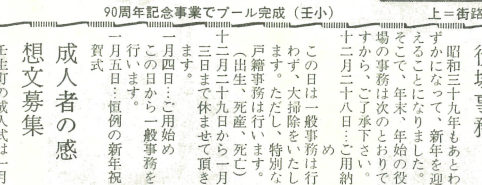
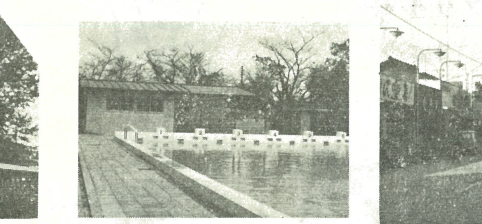
上=マンモスイちご集荷所(万町)

上=ヘリコプターで農薬散布(七ツ石)

上=米づくりに重要な上長田圃(姿川)



壬生町の穀倉地帯=稲葉地区



上=街路灯で一段とモダンになった商店街

90周年記念事業でプール完成(壬小)

お知らせ 福祉年金の支払



年末年始の役場事務

昭和三十九年もあとわずかになって、新年を迎えることになりました。そこで、年末、年始の役場の事務は次のとおりです。ご了承下さい。

- 十二月二十八日、ご利用納付
十二月二十九日、ご利用納付
一月一日、ご利用納付
一月二日、ご利用納付
一月三日、ご利用納付
一月四日、ご利用納付
一月五日、ご利用納付
一月六日、ご利用納付
一月七日、ご利用納付
一月八日、ご利用納付
一月九日、ご利用納付
一月十日、ご利用納付

成人者の感想文集募集

自衛隊員の募集

壬生町の成人式は、一月十五日午前十時より中央公民館で行われます。新しく成人となる門出を祝福する成人の日を、ふるまいたく、感想文集を募集いたします。

歳末助け合い募金

壬生町協会(東武)より一六〇〇〇円、青柳浩子氏(浦和市)一、〇〇〇円

古代の壬生

三、地名のおこり
同じ壬生町でも稲葉地区と旧壬生西部地区とは黒川、小倉川の流域に属した沖積地帯であり、他の洪積地帯とは地質を異にしている。したがって沖積地に適した作物が作られ、水田も古くから



米は、玄米で約七百万石、面積百五十万坪位であったところである。

交通戦争と年末年始の防犯に心がけよう